

波に乗って ～境港定住促進施設計画～



5618066 松本実夕

波に乗って

～境港定住促進施設計画～

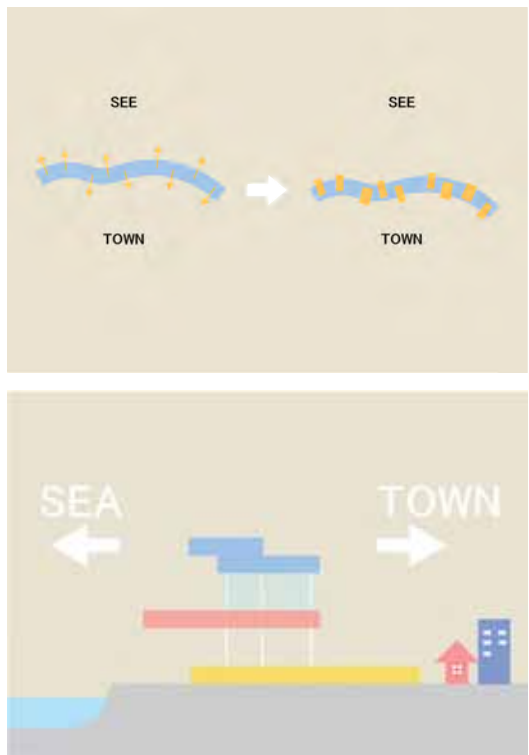
5618066 松本実夕

01 背景

近年、日本の人口は減り続けおり、都市部に人口が集中している。私の故郷である鳥取県境港市でも少子高齢化と人口減少が深刻化し、これらの主な原因として若い世代の都市部への移住がある。鳥取県境港市は、鳥取県の西部に位置する市である。弓ヶ浜半島の北端に位置し、三方を中海と日本海、これらを繋ぐ境水動に囲まれている。境港市は境漁港や境港(さかいこう)として特定第三種漁港に指定され、重要港湾として漁業で栄えてきた街である。境港市にはこのような魅力的な要素がありながら、人口減少、少子高齢化が深刻化している。鳥取県のこの問題の解決策として観光業の強化や暮らしや子育ての制度が意欲的に整えられている。一番栄えている観光業は地域活性化には繋がっているが直接的に人口増加や定住促進には繋がっていないと考える。これらの問題を解決するには直接的に人口増加や定住促進に繋がる取り組みが必要だと考える。

04 ダイアグラム

移住・定住促進施設と境港の海を掛け合わせて、海の波に流れて1つの場所に流れ着く様子をイメージして波の形を置いた。この形にすることで色々な方向から境港の景色を見ることができる。その上にまばらに宿泊室の形を置く。また、建物の構成を層にすることで階によって役割を分ける。これにより階が上がることによって移住定住へのレベルが上がっていく。1階の交流エリアでは運動やバーベキューなど境港の土地を体験する場とする。2階の移住・定住促進エリアでは、オープンなスペースの中で街の人や滞在者が交流する中で移住・定住について考えることができる。3階の宿泊エリアでは、宿泊室からの眺めを滞在期間も一望できる。部屋で暮らしながら街に親しみを持つことができる。人と人や境港がつながるきっかけになる施設になること、境港での都会にはないゆっくりとした生活感を表現するために、外観には木を使用し、カーテンウォールにガラスを使用し採光を多く入れることでやわらかで温かみのある空間を演出する。



LEVEL3

宿泊エリア
玄関だけが下の階に配置されており、メゾネットタイプの部屋となる。移住生活を具体的に想像・体験することができる。

LEVEL2

移住定住促進エリア
オープンなスペースの中で街の人や滞在者が交流する中で移住・定住について考えることができる。

LEVEL1

交流エリア
運動や農業、バーベキューなどグリーンツーリズムやブルーツーリズムを行ったり、境港の土地を体験する場。



02 計画目的

境港の魅力的な要素を利用してブルーツーリズム・グリーンツーリズムを行い、境港市民との交流や境港に住む目線から観光客に対しシテーパーモーションを行うことによって、境港市の人口減少、少子高齢化を解決できるような定住促進施設の提案を目的とする。

03 コンセプト

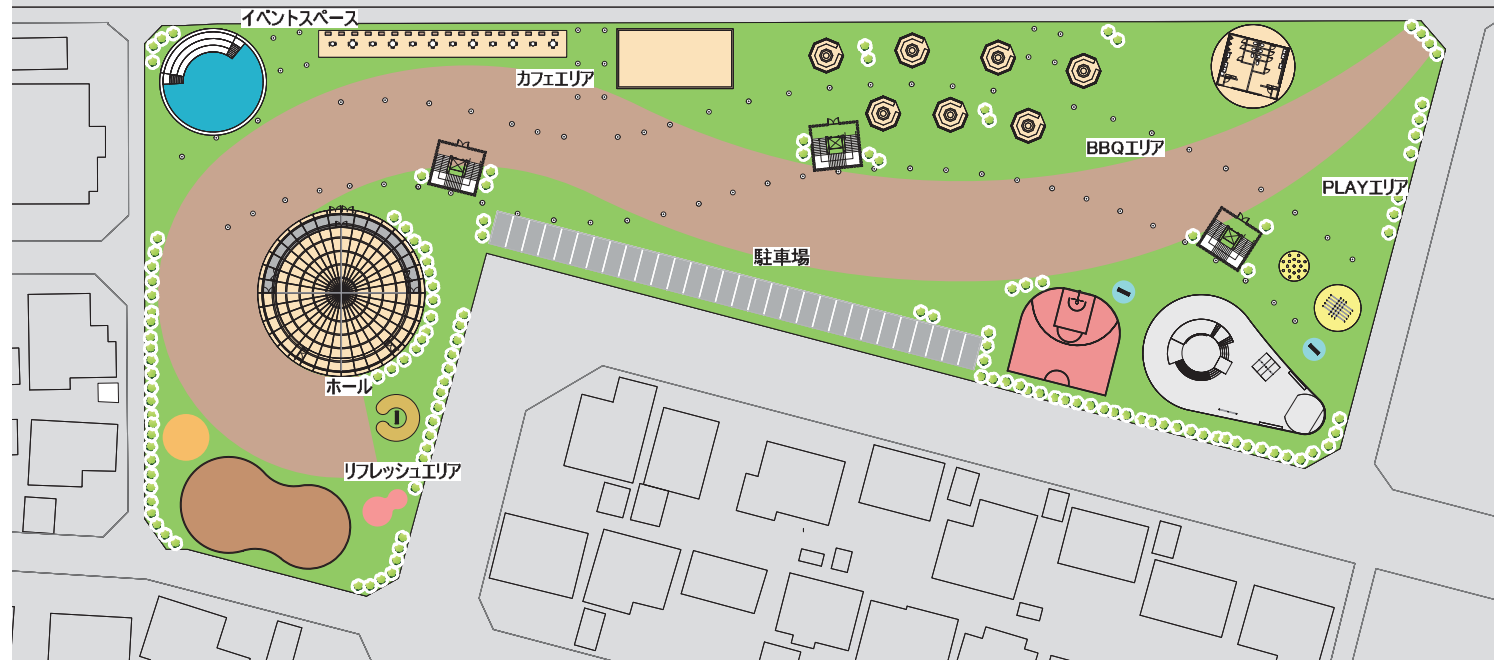
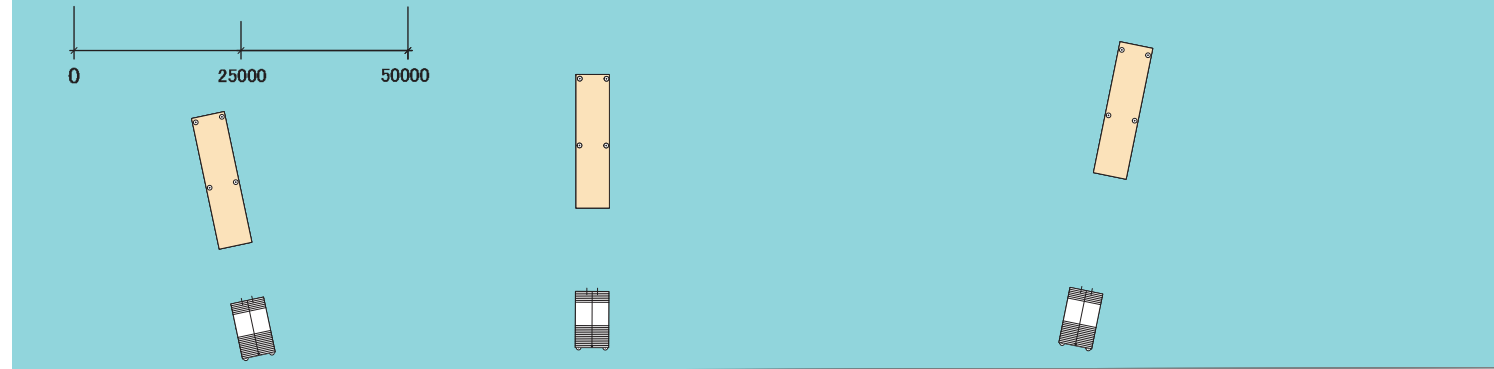
ブルーツーリズムやグリーンツーリズムを行い短期滞在の観光客を集める。そして境港に興味を持った長期滞在として訪れる移住希望者境港市民や先輩移住民との交流に機会を作る。それによって境港を体感することができるため定住促進に繋がる。



波に乗って
～境港定住促進施設計画～

1階平面図 (S=1/400)

5618066 松本実夕

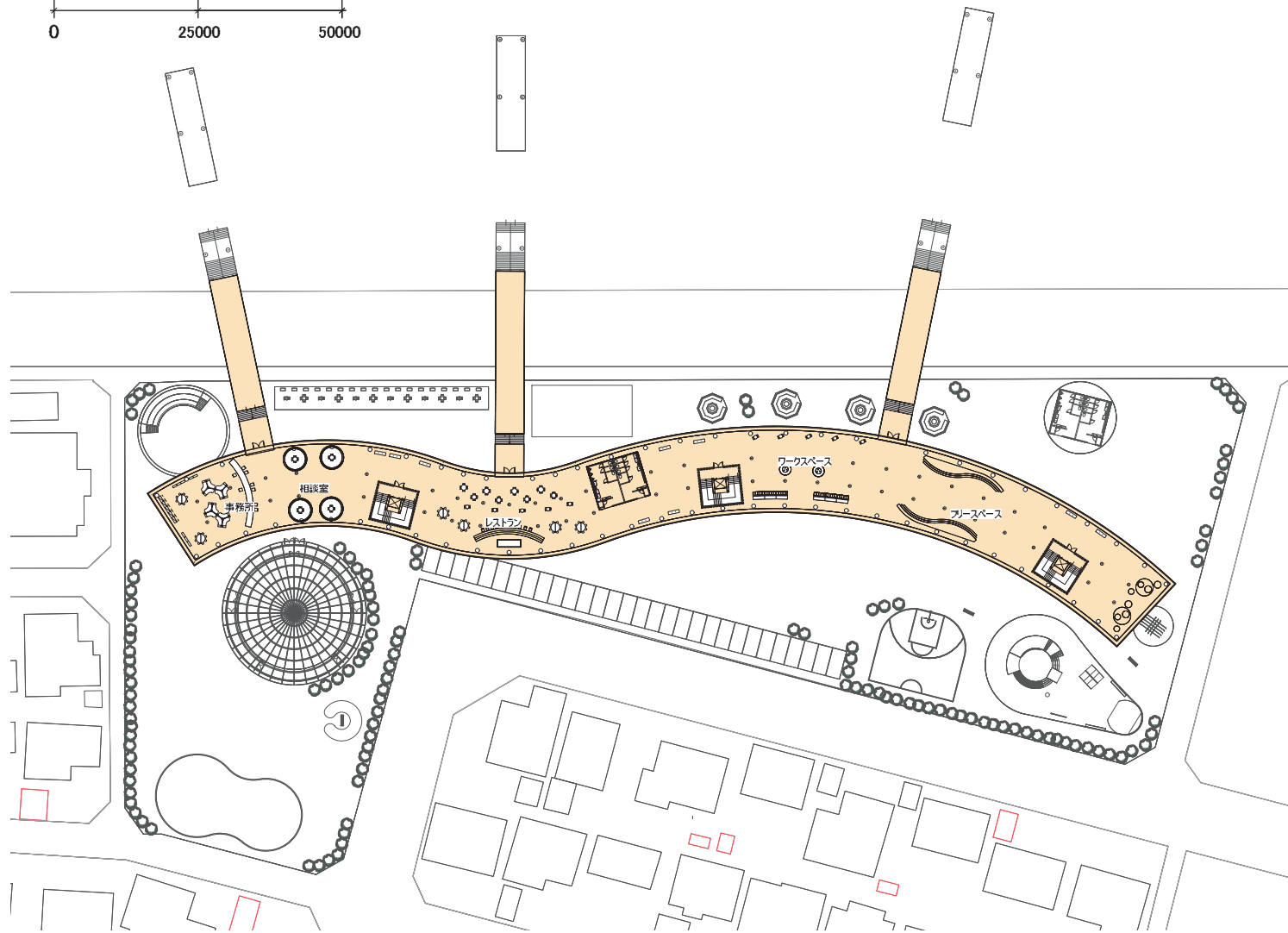


波に乗って
～境港定住促進施設計画～

2階平面図 (S=1/400)

5618066 松本実夕

0 25000 50000



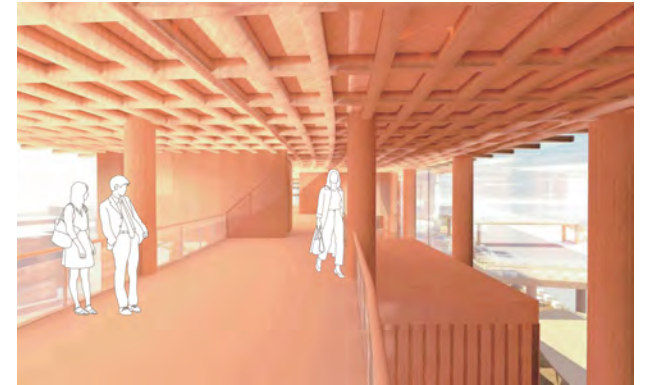
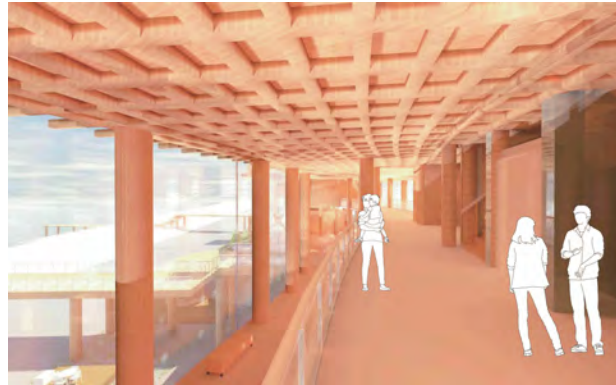
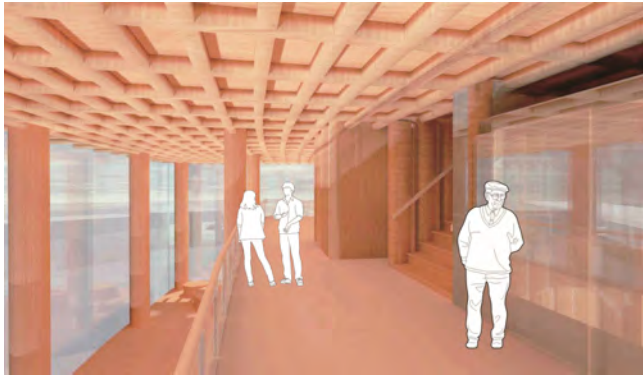
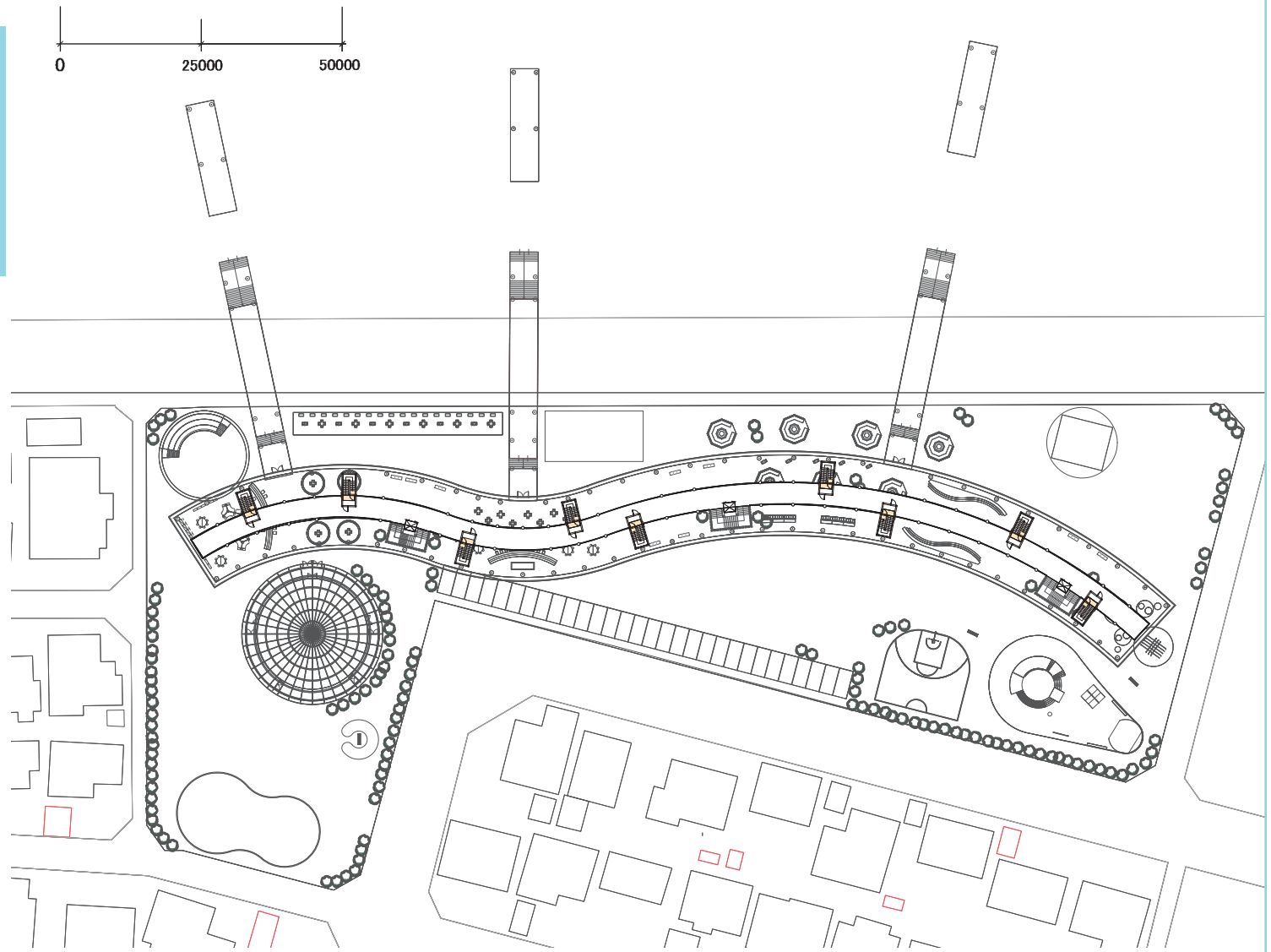
波に乗って

～境港定住促進施設計画～

中2階平面図 (S=1/400)

5618066 松本実夕

0 25000 50000

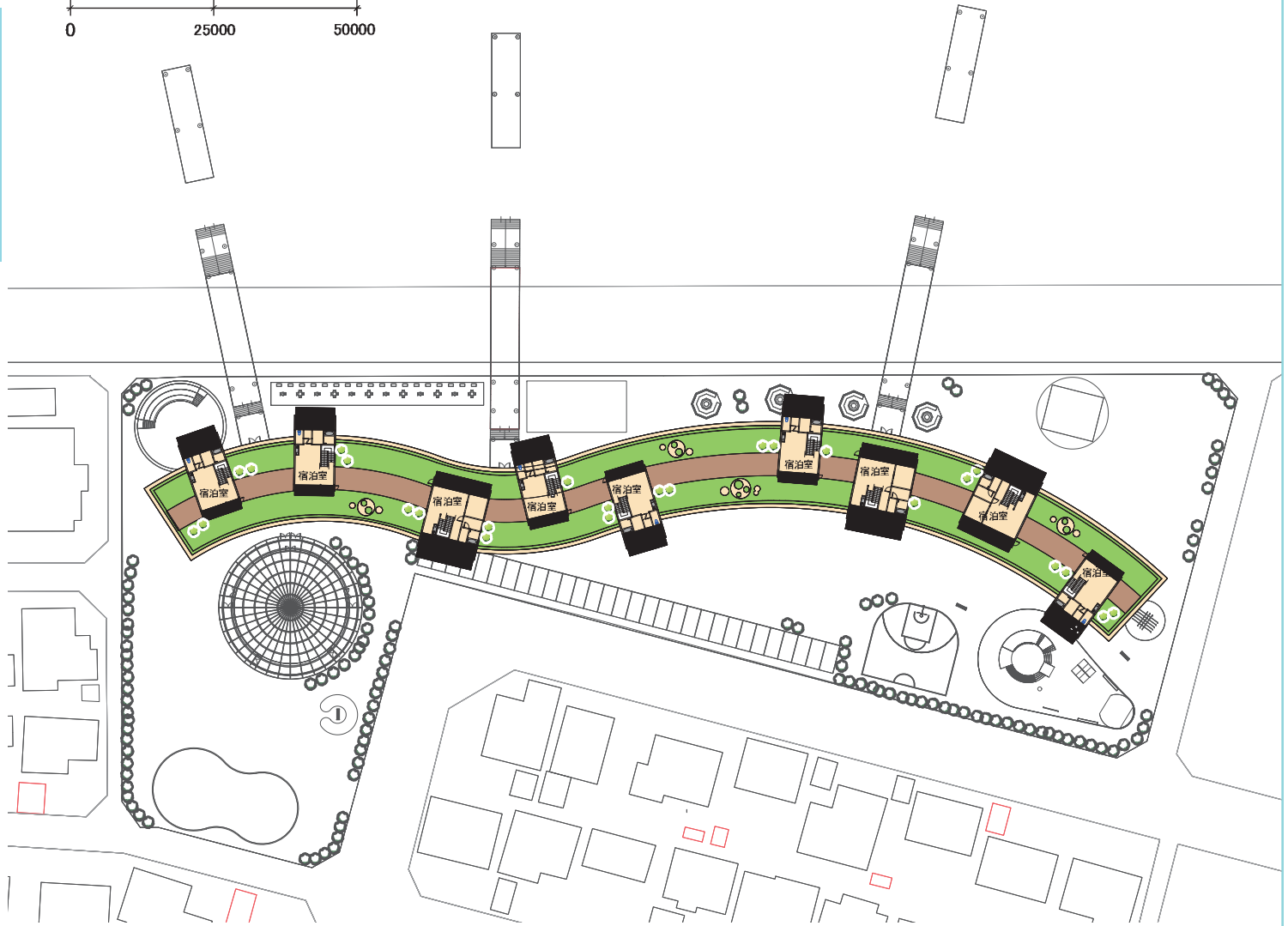


波に乗って
～境港定住促進施設計画～

3階平面図 (S=1/400)

5618066 松本実夕

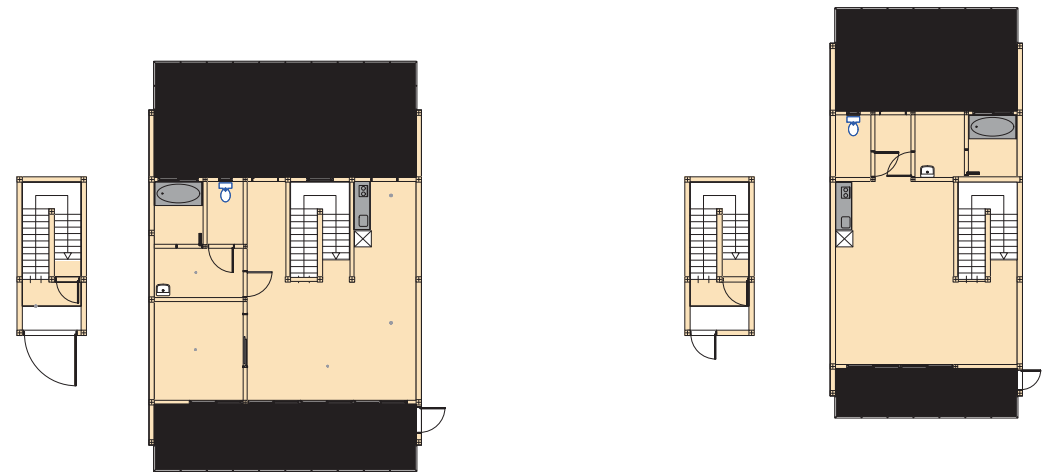
0 25000 50000



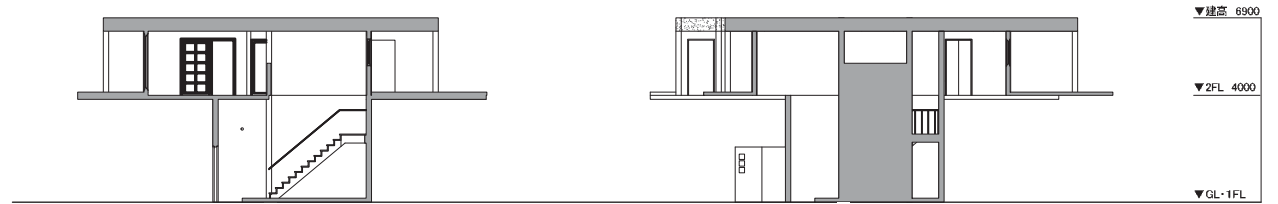
波に乗って
～境港定住促進施設計画～

宿泊室 (S=1/100)

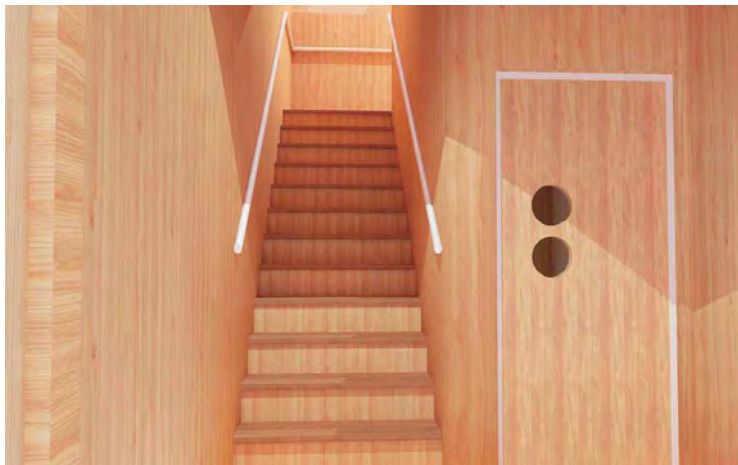
5618066 松本実夕



宿泊室平面図 (S=1/100)



宿泊室断面図 (S=1/100)



波に乗って
～境港定住促進施設計画～

立面図 (S=1/250)

5618066 松本実夕



南側立面図(S=1/250)



北側立面図(S=1/250)